

子育てや高齢者に特化

須山建設 賃貸マンション充実

総合建設会社の須山建設（浜松市）は子育て世帯や高齢者らに顧客対象を絞った賃貸マンションの開発を増やす。性能や設備などで特徴を出し、周辺物件より賃料が高くても入居者を集めやすくする。年間3棟ほど手掛け、同10〜15棟建てる通常の賃貸と合わせ事業売

上高を2025年度には30億円まで増やす。

同社は土地所有者にマンション開発を提案し、



子育て世帯に特化した賃貸マンションを「リーベル」ブランドで展開（浜松市）

自社で設計・施工して会社のアライフ（浜松市）

を通じ賃貸する。23年度の事業売上高は25億円。

このほど浜松市南部の中央区三島町に子育て世帯に特化した物件「リーベルシマ」が「リーベル」

のブランドにより初めて完成し、入居者の募集を始めた。

5階建て全15戸で、エネルギー消費が実質ゼロになるZEH（ゼロ・エネルギーギー・ハウス）基準を満たし光熱費を節約で

きる。断熱性能やエアコンの効率などを高め太陽光パネルも導入するなど省エネを徹底し、4人世帯で月8000円程度の節減効果が見込める場合もあるという。敷地内に子どもが安全に遊べる遊具も備えた。

高齢者には「ライフ」などのブランド名で設備の質を高め生活支援サービスを備えるなどした物件を展開する。地盤の浜松市は人口が80万人を割り減少するが、立地環境に応じて対象を絞れば需要を見込め収益性も高まるとにらみ、新たな開発用地の確保にもつなげる。

る。